

「明日から使えるテクニックやコツ」 現代医療における催眠療法の果たす役割

第8回学術大会

一般社団法人 日本医療催眠学会

日 時 2021年10月31日 (日)
9:00~17:30 オンライン(ZOOM)開催

参 加 費 会員 6,000円／一般 11,000円 (税込)

大 会 長 一般社団法人 日本医療催眠学会 理事 白石俊隆

主 催 一般社団法人 日本医療催眠学会

お 問 合 せ 大会事務局 taikai.jmha@gmail.com



プログラム

◆招待講演◆

トリシア・カエタノ

"Using Hypnotherapy to Unify
Body and Mind Healing"

—催眠療法による心と体の統合ヒーリング—

司会：萩原 優／通訳：大野百合子

<大会長講演>

白石俊隆 私の経験した催眠症例(約200症例)のまとめ

<一般演題>

- 1 紫紋かつ恵
催眠療法で、うまく入れない場合の対処法
- 2 川口春恵
未来から得られた癌の治癒
- 3 紫紋かつ恵
感染症時代における、zoomを使ったオンライン催眠の流れとコツ
- 4 野島ますみ
ソマティックヒーリングによるガンからの卒業
- 5 田村恭子
顔面麻痺の方の催眠療法。身体の声を聴いてその場で完治した事例
- 6 原ゆうこ・大槻麻衣子
パニック発作に対するヒプノセラピーとハートフルネスカウンセリングというアプローチ
- 7 加藤恭子・吉原奈美
医療における音楽の可能性と、ボニー式音楽イメージ療法(GIM)について
- 8 加藤詩子
催眠状態を解く催眠療法とは

<パネルディスカッション>

医師5人 + 非医師5人 催眠療法の実際現場での使われ方

大会長コメント

昨年は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のために本学術大会は、中止を余儀なくされました。今年も依然として落ち着かない状況の中、何としても開催したいと言う思いから完

全オンライン形式といたしました。メインテーマを「現代医療における催眠療法の果たす役割」とし、今回は特に学会員皆様が主役となるように工夫いたしましたので、どうぞお楽しみ下さい。

